

♪ 2018年度 poco a poco ♪

Nr. 18 2018年12月20日(木) 文責: プファイル・辰巳

はやく来い来い・・・

ドイツではアドヴェンツカレンダーでクリスマスまであと何日と数え、日本ではあと何回寝るとお正月がやってくるかと歌いますね。子どもたちが楽しみに待つクリスマスとお正月がやってくる冬休みまで、本当にあと数日となりました。

長かった2学期の振り返りとまとめは終わりましたか？ 宿泊行事に学校祭、交流活動にホームスティ、授業参観に弁論大会など、たくさんの課題に取り組んだ2学期だったことと思います。この2学期で培った経験を活かし、3学期はしっかりと学年のまとめをしましょね。まずは、みんなで無事に新年を迎えたいものです。



楽器も大掃除 !!

鍵盤ハーモニカもリコーダーも、冬休みはおうちで一休みです。でも、その前に、1年間の大掃除をお願いします。来年もいい音を出してもらえるように、しっかりつば抜きなどをしておいてください。壊れている箇所がないかも点検しておいてくださいね。

ミニコンサートお疲れさまでした

先日はお忙しい中、2学期ミニコンサートに足をお運びくださり、ありがとうございました。お陰様で、40組近い参加があり、盛況の内に終わることができました。

今回は会場の音楽室が、大混雑にならなかったなあと思っていましたところ、ロビーのモニターで鑑賞してくださった方がたくさんおられたとのこと。ロビーからのご声援、ありがとうございました。ハウスマイスター・ケッペ氏のご

協力でロビーでも鑑賞できるようになり、ありがたいことだと思っています。ただ、ロビーの声も音楽室前のおしゃべりの声も、けっこう会場の音楽室に聞こえてしまいますので、どこで鑑賞されるにしても、大きな声でのおしゃべりは控えていただけると助かります。

出演者の中では、今回、男の子たちの活躍が目立ったような気がします。ピアノにヴァイオリン、鍵盤ハーモニカにリコーダー、そして和太鼓など、様々な楽器で出演してくれました。ぜひ楽器の練習に今後も励んでほしいなと思っています。

3学期は短いですが、次のミニコンサートはすぐやってきます。今年度最後のミニコンサートも楽しい企画でぜひ参加してください。待っています！

音楽こぼれ話 <作曲家のこの一曲 ⑱ ヨハン・シュトラウス2世 「美しく青きドナウ」~ニューイヤーコンサートの定番~>

ヨハン・シュトラウス2世はオーストリアのウィーンで活躍した作曲家です。2世がいるからには、1世もいるわけで、お父さんのヨハン・シュトラウス1世もウィーンの有名な作曲家・指揮者でありました。父1世は「ワルツの父」息子2世は「ワルツの王」と呼ばれています。

この親子、実は生前、仲がとても悪く、ライバル作曲家として「ワルツ合戦」と評されるほど、敵対していたそうです。それというのも、何故か父1世は息子が音楽家になることに大反対で、息子がウィーン音楽界で活躍するのに横槍ばかり入れていたといひます。

その父1世が1849年に45歳の若さで亡くなり、ようやくこのワルツ合戦に終止符が打たれます。その後の50年間は息子2世活躍の時代です。

今回ご紹介する「美しく青きドナウ」は、ウィーンフィルハーモニーオーケストラのニューイヤーコンサートの定番曲の一つですが、この息子2世が1866年に作曲した作品で、オーストリアの第2の国歌とさえ言われるほど親しまれています。彼はその他にも「ウィーンの森の物語」や「皇帝円舞曲」など、日本人にもなじみの深い曲をたくさん作曲しました。

ウィーン市内の公園には、ヴァイオリンを奏でるヨハン・シュトラウス2世の有名な像もありますね。ちなみにウィーンを流れるドナウ川は、ドイツのシュヴァルツヴァルトに源泉をもち、全長2850kmを誇るヨーロッパ第2の国際河川です。河口は黒海のドナウデルタ。この曲のほかにも「ドナウのさざなみ」など、ドナウ川を題材にした他の作曲家の音楽もあります。



2019年のニューイヤーコンサートの指揮者は、まだ(?)58歳のドイツ人指揮者クリスティアン・ティーレマンと決まっています。ティーレマン指揮の「美しく青きドナウ」を聴くことができるのでしょうか? 毎年、世界中のあちこちに衛星中継されるウィーンフィルのニューイヤーコンサート、楽しみです。

4月から 新小学部3年生、新中学部1年生に 進級されるみなさんへ

冬休み中にリコーダーの購入を予定されている場合は
下記の通りお願いいたします。



<新小学部3年生>

小学部3年生では、鍵盤ハーモニカも続けて使用しますが、新しく「ソプラノリコーダー」も習い始めます。ドイツの楽器店で購入可能です。購入の際には、木製のものは高価で、扱いも難しいので、初心者用のプラスチック製をお勧めします。「ジャーマン式」と「バロック式」がありますが、初心者にはジャーマン式が扱いやすいと思います。

<新中学部1年生>

中学生から、音楽の授業では「アルトリコーダー」を使用します。こちらもドイツの楽器店で購入可能です。ソプラノリコーダー同様、木製のものは高価ですので、プラスチック製のものをお勧めします。なお、アルトリコーダーの場合は、使いやすさの点から「バロック式」の購入をお勧めします。

音楽関係ドイツ語 豆 単語帳

ソプラノリコーダー	Sopran- Blockflöte (ブロックフレーテと読みます)
アルトリコーダー	Alt- Blockflöte
ジャーマン式	Deutscher Griff (グリッフは指使いの意味です)
バロック式	Barock Griff

ちょっとだけ 演奏会情報 1月のアルテオーパーの演目より



- 1月19日(土) 大ホールにて
20時から ウィーンフィルの演奏
ベートーヴェンのピアノ協奏曲 第3番
ブラームスの交響曲 第2番 ほか
- 1月26日(土) 大ホールにて
19時から ウィーンのヨハン・シュトラウス ガラコンサート
シュトラウス親子のワルツ作品をバレエと音楽で
- 1月27日(日) 大ホールにて
17時から グレートブリテン ウクレレオーケストラ
イギリスの曲をいろいろ

それでは、みなさん、

お身体に気をつけて、楽しいクリスマスと新年をお迎えください。
3学期にまた、みなさんの元気な歌声を音楽室で聞ける日を楽しみにしています。



今学期で本校を去られるみなさんへ

日本へ帰国されるみなさん、あるいは他の日本人学校や現地校、インターナショナルスクールに転校するみなさん、お別れのときはいつも、「音楽は一生の友、世界の共通語」という言葉を贈ることにしています。いくつになっても、世界中どこへ行っても、音楽とともに心豊かに過ごされますよう、願っています。お元気で!

Alles Gute und
auf Wiedersehen !!